



すべては 会員ののために。



商工会は、ともに歩む ビジネスパートナーです。

商工会は地域の事業者が業種に関わりなく会員となって、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。また、国や県の中小・小規模企業施策（経営改善普及事業）の実施機関でもあり、商工業者の皆様を支援するためにさまざまな事業を実施しています。

商工会は、法律（商工会法）に基づいて、主に町村部に設立された総合経済団体で、全国に1,648団体（※）があります。都道府県には商工会連合会があり、広域的なテーマや専門的なテーマについて、事業者や各商工会を支援しています。（※令和3年4月1日現在）



商工会には2つの大きな事業があります。

商工会の2大事業

1

事業者の経営改善

中小・小規模事業者の「支援機関」として、経営や技術の改善発達のために、経済産業大臣の定める資格をもつ経営指導員などが、金融・税務・経営・労務などの相談や指導をします。



2

地域社会の発展

地域の「総合経済団体」として、経済活動を通じた元気な地域づくりと商工業振興のため、まちづくり、社会一般の福祉の増進など、さまざまな事業に取り組んでいます。



最新設備導入と生産プロセスを改善する加工技術開発

1968年創業の同社は、主に自動車や産業機械分野の金属部品を量産加工してきた。しかし、リーマンショック以降、量産品は徐々に海外生産にシフトされ、売上が上がっても利益が出ないという状況に陥った。そこで、小ロットで付加価値の高い製品への転換を図ることとした。

商工会の支援の下、ものづくり補助金を申請して、まず3次元CAD/CAMソフトを導入。複雑形状への対応と加工時間を短縮する加工技術の開発を行った。その際、多工程の加工プロセスに手作業による段取り替えが生じることが課題となった。

そこで、次年度も補助金を活用して5軸加工機を導入。ワンチャックにより1工程で加工を完結させることに成功した。

さらにその翌年には、専門家派遣制度を利用して県産業技術センターの工学博士の助言をいただき、3次元測定機を導入。自動測定により生産性が格段に向上した結果、2020年度の「はばたく中小企業・小規模事業者」の全国300社のうちの1社にも選定された。商工会の持続化補助金でホームページも作成。全国からさまざまな問い合わせがくるまでとなった。

今後は、より付加価値の高い多品種少量品への事業再構築を予定している。

株式会社タツミ製作所

〔代表者〕 赤石 康生
 〔住所〕 群馬県みどり市大間々町大間々 379-4
 〔TEL〕 0277-73-5191
 〔FAX〕 0277-73-0364
 〔URL〕 <https://tatumi-ss.co.jp/>



補助金制度や商工会の助言があったから、思い切って設備投資できました。

Advisor

経営指導員
板垣 翔さん



タツミ製作所さんは、設備投資や新しい分野への取り組みに前向きなので、サポートしがいがあります。DXでの事業再構築など、私も一緒に勉強しながら、引き続きできる限りのお手伝いをさせてもらいたいと思っています。

全国初の「生芋味付こんにゃく」の賞味期限を常温で30日間にする試作開発

こんにゃく製品を製造する同社は、曾根商店(株)からこんにゃく製造部門のみを1972年に分離独立した。

商工会の勧めにより、東京ビッグサイトでのグルメフェアに出展して試食商談を実施したところ、全国のバイヤーから「生芋味付こんにゃく」が特に好評を博した。ただ、冷蔵で2週間の賞味期限という点が、広域への流通・販売を進める上でネックとなった。そこで、当時他社が商品化していない「生芋」を使った常温で長期保存できる「味付こんにゃく」を商品開発し、低価格化にも取り組むことにした。

「生芋味付こんにゃく」の賞味期限常温30日を目標に定めたところ、実現のためには液体入りの内容物の入った袋を縦にセットができて、製品一つ一つを独立した真空室で真空包装する装置が必要となった。そこで、ものづくり補助金を申請して縦型袋詰真空包装機を導入し、試作開発を実施。さらに、群馬県農政部技術支援課の講習を受けて、より確実なボイル殺菌法を試したところ、常温での賞味期限30日間の商品開発に成功した。

近年、健康食品として注目度の高いこんにゃくを、より食味のよい生芋味付で長期保存を可能としたことで、新たな販路開拓と顧客獲得が期待できる。

子持食品株式会社

〔代表者〕 曾根 保幸
 〔住所〕 群馬県渋川市白井 968-1
 〔TEL〕 0279-23-3659
 〔FAX〕 0279-24-8078
 〔URL〕 <https://www.komochisyokuhin.com>



商工会からいただいた情報や機会を大いに活用し、事業の道が広がりました。

Advisor

経営指導員
飯塚 昭雄さん



持続化補助金に始まり、東京での展示会や県内の商談会・物産展等に出席。その中で気づいた問題を解決するため、補助金を活用して新たに設備導入を行ったことで、付加価値の高い商品開発にも繋がりました。前向きな社長の姿勢に少しでも商工会の支援がお役に立てればと考えています。